



新紙幣をよく見ると……

今年7月に新しい紙幣が発行されました。見た人も多いと思いますが、どんな感想をもちましたか。額面数字が大きくかなり目立ちます。SNS上では「大きすぎ」「ちょっと違うのでは」という不評の声も多かったことで注目されました。

新紙幣は、なぜこういったデザインになったのでしょうか。

まずは、触って分かる識別マーク。新紙幣では触った際に分かりやすい11本の斜線(//////////)の形にして、3種類のお札ごとにその位置を変えて、触ってすぐに識別できるように工夫されています。そして、額面数字の大型化です。漢数字よりもアラビア数字の方が大きく、フォントも変えています。さらには、千円札と一万円札では「1」の文字の「ひげ」の有無が異なり、見ただけで区別がつかます。また、ホログラム(3Dでツルツルしていて顔が見える部分)の違いでも見て分かる工夫をしています。形や大きさ、配置をお札ごとに変更して識別しやすくしています。透かし(文字や絵がなく、薄く顔が見える部分)も千円札と一万円札は中央に、五千円札は左側にしてあります。旧紙幣ではすべてのお札で楕円形でしたが、新紙幣では形状もそれぞれ変更しました。まだ変更点があります。それはサイズです。重ねてみればすぐに分かりますが、一万円札が一番横に長くなっています。

これだけの変更にはどんな意味があるのでしょうか。偽造防止のためでしょうか。

新紙幣におけるこれらの工夫は、高齢者や外国人はもちろん、視覚認知に困難さがある人にとっても容易に識別可能なものとするために施されました。

まさに、**ユニバーサルデザイン**です。ちなみに、**ユニバーサルデザイン**とは、デジタル大辞泉で調べてみると、「高齢であることや障害の有無などにかかわらず、**すべての人が快適に利用できるように**製品や建造物、生活空間などをデザインすること」と書いてあります。誰一人、新紙幣を利用する際に困らないようにという配慮が嬉しいですし、日本の技術力の高さも生かされていると感じます。

教育でも、文部科学省が「誰一人取り残さない教育」という言葉をキーワードとして使っています。学校現場でもユニバーサルデザインの視点で環境を整備しています。まだまだ道半ばですが、「すべての人が困らず、快適に学習できる環境の実現」は素晴らしい目標だと思います。田柄中もそういった環境にしていかなければなりません。

私たち人間は「得意」・「苦手」があります。苦手なことからは逃げたくなりますが、苦手を克服していく手立てはきっとあると思います。私は小学校時代、泳ぐのが苦手でした。恥ずかしい話ですが、息づきがどうもうまくできなかつたのです。そのため、ビート板が頼りでした。ビート板があることで安心してプールに入ることができました。また、読書も好きではありませんでした。文を読んでいて、次の行にいったつもりが、同じ行を読んでいることに気が付きます。そんなことを繰り返しているうちに嫌になってしまうのです。そんな時に、読んでいる行に定規をあてて読むことを教わりました。現在は、「モジサン定規」という補助具として販売されているようです。苦手なことも、補助をしてもらったり、道具に頼ったり、教えてもらったり、丁寧に対応してもらったり、応援してもらったりすることでできるようになることもあります。私事で恐縮ですが、大学では中学校・高等学校の「国語」の教員免許状を取り、臨海学校では遠泳のサポートをすることができました。「できない」ことを「伝える」ことで周りの人に「理解」してもらい、「支援」と「自分なりの努力」で「克服」につながりました。最初は恥ずかしいかもしれませんが、生きていく上で自分を知ってもらうことは大切です。

自分には難しいかな、無理かなと思っている人がいるとしたら、こう考えてほしいと思います。

「できない」のは「今」であって、その後も「ずっとできない」わけではない。すべての人が快適に生きることができるように、ユニバーサルデザインという考え方も生まれたし、世の中も、きっと応援してくれる。勇気をもって自分の困難さを伝えて、はじめの一步を踏み出してみよう。

「始めればきっと変わる。なりたい自分に。」

田柄中レポート

★9月13日(金)～15日(日) 修学旅行(3年生)



中学校生活の集大成と位置付けて、奈良・京都に行きました。

新幹線では大いに楽しみました。「このまま乗っていたい」という声聞こえてきて微笑ましかったです。観光地や神社仏閣で会う田柄中の皆さんは、有意義な時間を過ごしたようです。修学旅行の準備は早くからとりかかりました。事前準備も周到に行いました。しかし、実際にはうまく行かないこともたくさんありました。その度に班員と相談したり、時には先生に連絡したりして乗り越えました。

大きな事故もなく、何よりたくさんの笑顔が見られた修学旅行が終わりました。

一生の宝物として心の中に残ることでしよう。

★9月20日(金) 立会演説会(生徒会役員選挙)



生徒会役員選挙を行いました。立候補することを自ら決断し、朝は昇降口に立って挨拶を行ったり、昼の放送で公約を発表したりと忙しい日々を過ごしました。悩んだ際には家族のサポートもあったのではないかと思います。応援演説してくれる人の存在も大きかったようです。当日は立派に自分の思いを伝えることができました。投票に際しては、選挙管理委員の皆さんが、実際の投票所をイメージして運営してくれました。全員信任され新しい生徒会本部が発足しました。

★10月7日(月) 生徒会朝礼(生徒会本部役員・委員認証式)

学校は1年の半分が終わりました。そして、いよいよ2年生が学校の中心となり、後期の生徒会本部役員と委員の認証式が行われました。もらうのは紙一枚ですが、責任という重みが加わっており、緊張の面持ちで受け取っていました。田柄中の今後が楽しみになりました。



【表彰】生徒の活躍紹介! <敬称略>

陸上競技部

第62回練馬区中学校生徒総合体育大会
女子の部 第6位 総合の部 第7位

女子バスケットボール部

第77回練馬区民スポーツ大会
中学校女子の部 第3位

女子バレーボール部

練馬区中学校バレーボール新人大会
女子の部 第4位 第3ブロック大会出場

<今後の予定>

- 10月17日(木) 受験用顔写真および卒業アルバム個人写真撮影
- 18日(金) 三者面談(3年生のみ)開始
- 20日(日) 第7地区祭(田柄小)
- 21日(月) 全校朝礼 避難訓練
- 23日(水) 校区别協議会
- 25日(金) 三者面談(3年生のみ)終了
校外学習(1年)
- 11月11日(月) 全校朝礼
- 13日(水)
- ～15日(金) 期末考査
- 17日(日) 田柄町会防災訓練